

# まちのスケッチブック

泉佐野発→日本一の「ひとづくり」のまちへ

第47号

泉佐野市議会議員

## 千代松 大耕 (33歳)

ちよまつ ひろやす

### 市政報告 夕張市との比較

変わらない挑戦。  
進化する改革。



今年の2月6日で議員生活も丸7年となりました。私は7年前の2月6日の泉佐野市議会議員補欠選挙で初当選させていただきました。その時、泉佐野市では府知事選挙、市長選挙、府議会議員補欠選挙、市議会議員補欠選挙の4つの選挙が重なりました。当時市議会議員であった現在の新田谷市長、山下府議会議員がそれぞれ市長選挙、府議会議員選挙に出馬することです。市議会議員の補欠選挙が実施されたのであります。「議員3」、つまり3人しか当選しない選挙に対して立候補者が10名という厳しい選挙戦でした。しかし5,548票という多大なご支援をいただき、第2位の得票で初めて市政に送り出させていただきました。

「光陰矢のごとし」と言いますが、本当に「あっ」という間の7年間でした。この7年間を振り返ってみますと、議員として一番うれしかったことは、りんくうタウンへ母校の府立大学の一部や航空保安大学の移転が決定したことであり、私のマニフェストに掲げてあった大学誘致がようやく実現することができました。逆に一番残念だったのは泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町・岬町の合併が破算となったことでもあります。しかし地方分権が求められている時代にあつては地方自治体の基盤を強固にしていかなければなりません。「市町村合併の波」は近い将来必ず再来すると考えています。

そしてこの7年間は泉佐野市にとって新田谷市政の7年間であります。この間の大部分の労力は泉佐野市の財政再建に費やされたわけであり、しかしそれにもようやく明るい兆しが見えてきました。昔のように「あれも、これ」というわけにはいきませんが、これからは市民の方々に少しでも明るい話題を提供できるようにさらに頑張っていきたいと考えています。

#### 「夕張市のように倒産しないか？」

昨年末に北海道の夕張市が地方自治体の倒産にあたる財政再建準備団体に転落してから、マスコミで大きく夕張市のことに取り上げられるようになりました。私は年初から色々な機会に出席していますが、市民の方に「泉佐野市は夕張市のように倒産しないか？」と聞かれることがよくあります。

夕張市は炭鉱のまちとして栄えて最盛期には市の人口が12万人までなりましたが、炭鉱の閉山が相次いだ結果、市の人口が現在は1万3千人台となっています。また炭鉱に変わる産業として観光事業に市が力をかけた結果、財政状況が著しく悪くなりました。

泉佐野市は4年前に人口が10万人を突破し、現在も少子高齢化の時代にあつて人口は増え続けています。また本年の8月2日には悲願であった関西国際空港の第2滑走路が供用開始されます。また対岸のりんくうタウンには大学の移転や企業の進出が続いており、累積赤字額が標準財政規模の20%に到達すると地方自治体の倒産にあたる財政再建準備団体に転落してしまうという点については、泉佐野市のデッドラインは約38億円であり、平成15年度末では30億円まで累積赤字を抱えてしま

ましたが、3年間でこの30億円を解消しました。（もちろんこれにつきましては、市民の方々の多大なるご協力のおかげであります）

表中の地方税収や財政力指数を見ていただいてもわかりますように泉佐野市と夕張市の財政力は根本的に大きく違っています。地方税収で泉佐野市と比べて約20分の1の夕張市が歳出では約2分の1であり、この歳出の大部分が銀行からの一時借入金で実には100億円にも届いていません。一時借入金は年度内に返さなければならぬというのがルールであります。地方自治体は3月末をもって年度が終了しますが、4月、5月と前年度の会計処理のために出納閉鎖期間というものがあります。この期間を利用して夕張市は新年度の特別会計の予算から旧年度の一般会計に返済して返済してもらい、旧年度の一時借入金を返すという操作を繰り返して、本来なら明るみに出てくる赤字額を一時借入金に積み重ねていったのであります。つまり夕張市は公会計特有の会計処理を悪用して赤字を隠していたのであります。しかし国の地方交付税改革などで大きく依存していた地方交付税収入にも大きな影響が及ぼされ、いよいよこの操作ももたなくなり財政再建準備団体に転落したのであります。

また夕張市は観光事業を行なっていた他会計への繰り出しが財政を逼迫させる要因でありました。こういったことがあつたので総務省は地方自治体の財政状況を一般会計だけでなく、他会計も含めた連結のベースで見えていくという方針です。こういった点で泉佐野市は下水道や宅地造成の事業会計で多くの借金があり、まだまだ気を引き締めていかなければならないような状況ですが、「夕張市のように倒産する」ようなことには絶対になりません。

(泉佐野市と夕張市の比較)

	泉佐野市		夕張市	
人口	10万2千人	260位	1万3千人	778位
人口増減率	1.4%	131位	▲8.5%	780位
面積	54.38km <sup>2</sup>	624位	763.2km <sup>2</sup>	52位
人口密度	1,850人/km <sup>2</sup>	166位	18人/km <sup>2</sup>	780位
歳出	376億円	251位	193億円	539位
地方税収	188億円	171位	9億7千万円	777位
財政力指数	1.00	58位	0.22	695位
職員数	828人	287位	274人	704位

(表中の順位は全国の市における順位です)



監査委員には、地方自治法に基づいて行なう「工事監査」という仕事があります。「工事監査」につきましては、契約金額が1,000万円以上の工事契約の中から監査対象工事を選定して行な

います。今年は公共下水道第4工区(その2)の工事(泉佐野市高松北内で行なわれた雨水管の工事)を工事監査しました。午前中は日根野にある上下水道局で設計、施工計画並びに施工管理を中心に関係種類の審査を行い、午後からは工事現場で施工状況についての説明を聞き審査を行いました。この監査は土木技術の専門的な知識が必要のため、専門の技術士さんに来ていただき実施しました。高松北、高松東は複数の水路が合流し、1本の水路に合流している状況でこの水路の流下能力不足によって、高松北、高松東だけでなく下流域である大西町や西本町、野出町まで多量の雨水排水の影響で浸水被害が多発していました。この被害を解消するのが目的でこの工事が行なわれたわけです。1本の水路に集まっていた雨水が公共下水道に排水されることで広域的な浸水被害が一気に解消される見込みであります。工事関係書類審査及び、現地での調査を行った結果、全般的に適切に行なわれていることを確認しました。

## 今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々の意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

第26回「かけはし」	… 3月23日(木)
第27回「かけはし」	… 4月27日(金)
第28回「かけはし」	… 5月24日(木)
第29回「かけはし」	… 6月28日(木)

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 参加費 **無料**
- 時間 19:30~20:30

## ミニ集会で意見交換をしませんか?

2~3人の少人数でも構いませんので、市や地域の課題に関して、千代松大耕と意見を交換したいという方はご連絡ください。平日・午前中・昼間でもスケジュールが合えば、どこにでもお伺いします。

## 携帯用メールマガジンを開設しています!



DoCoMo/au/SoftBank

携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

## 千代松大耕プロフィール

1973.10.3 泉佐野市松原生まれ  
 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業  
 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業  
 1992.3 同志社香里高等学校 卒業  
 1996.3 同志社大学経済学部 卒業  
 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了  
 2003.3 大阪府立大学大学院 修了  
 2005.3 和歌山大学大学院 修了

1999.4 株式会社 堀場製作所 入社  
 2000.2 泉佐野市議会議員初当選  
 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選  
 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選

(議会)  
 2003.5 市町村合併検討委員長  
 2004.5 第61代副議長  
 2005.5 厚生文教委員長  
 2006.5 監査委員

(現在) (社) 泉佐野青年会議所 専務理事  
 (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事  
 泉佐野市バレーボール連盟 会長  
 泉佐野市柔道連盟 理事  
 佐野中校区青少年指導員会 幹事長  
 泉佐野市交通指導員  
 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問  
 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問  
 (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問  
 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事  
 看護を考える市町村議員の会 副幹事長  
 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長

## 千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス: <http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

※検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31  
 TEL 458-1708  
 FAX 469-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>  
 メール [chiyoma51@hotmail.com](mailto:chiyoma51@hotmail.com)  
 発行部数累計 549,500部 2007.2第47号

\*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。